

# 令和 元号 改元に際して

2019. 5. 7 (火)

読売新聞 19. 4. 2~5. 2 の記事から引用を含む

韓国食品株式会社

代表取締役社長 関 南淑

## 人心一新図った歴史

元号は、紀元前2世紀(2200年前)に、中国の前漢で生まれたとされ、日本や朝鮮半島、ベトナムなどに広がった。日本だけが元号を残し、西暦と併用する。

元号は、日本人に共通の時代意識を生み出して来た。代替わりと合わせて、『人心の一新が図られた歴史』がある。

平成は、中国の古典書経の一節、『地平天成』から出典。戦後の平和な時代を築いた、日本の意識を知る事が出来る。それは、様々な戦争の歴史を二度と繰り返さないという意識を、世界中に知らせる『日本文化』の、美しい心を知ることが出来る。

令和を通じて同じく、日本が目指す方向をはっきりと世界中に知らしめる効果は、計り知れないと思うことが出来る。

新元号『令和』の考案者とみる、中西進氏(89)は、元号の根幹にあるのは、『文化目標』とした上で、『和』について、『和をもって貴しとせよ』憲法17条の精神が流れているとの考えを語った。

『令和』の出典は、大伴旅人が730年に開いた宴での、梅花の歌32首の序文。万葉集では、『初春の令月にして、気淑く風和らぎ』と表記され、『和』は、風の柔らかさを示す言葉として使われている。

中西氏は、『元号は文化』と考える中、604年に聖徳太子が制定したと伝えられる、憲法17条の平和精神を重視。『大和の心』は、万葉の精神にも流れ、平和憲法にも繋がるものだとした。その上で、『令』は、善い事を意味し、『令和』とすることで、新元号にふさわしい『麗しき和』が表現されていると語った。

## 令和に至る背景

学者100人以上から案集め。3月末、令和を含め6案に絞り、有識者9人に示され検討。6案どれに決まってもいいように、6通りの首相談話が用意されていた。決定まで、閣僚の携帯電話を預かり、トイレにも付き添う。何故かという、昭和改元の際、毎日新聞が事前

に光文と報じ、混乱が生じた。『 厳肅な雰囲気の中で決まるべき元号 』のイメージが損なわれることを恐れた。厳肅を守る為、お国のあらん限りの配慮を新聞記事で読み取ることが出来る。

それを、我が社の従事者たちも改めて認識し、物事を成立させる理解力を高めて欲しいという、願いから、この文をまとめています。

## 儀式を通して学ぶ

4月30日 退位礼正殿の儀は、憲法と兼ね合いに配慮して、随所に『 工夫 』が凝らされた。

『 天皇陛下におかれましては、皇室典範特例法の定めるところにより、本日をもちまして、ご退位されます。 』…（省略）いかなる時でも、明日への希望と勇気を与えて下さいました、国民と苦楽を共にされた天皇陛下の御心を思い致し、深い敬愛と感謝の念を新たにす次第です。この辞に対して、陛下は深く謝意を表します。と、返礼なさいました。

最初に言葉を発したのは、国民代表である、安倍首相だった。陛下に先んじて、首相が退位の事実に触れたのは、国民の代表である国会が定めた特例法に基づき、退位が実現したことを強調するためだ。国民主権の原則を意識させる狙いがある。

☆ 以前は『 天皇主権だったが、改正で国民主権となった。 』

☆ この儀式は、日本社会秩序を、全世界に知らしめるものである。その秩序に物事や道理、中庸の精神が見事に現れ、日本の姿勢を示すものとなった効果は計り知れない。

陛下の退位と、即位式を通して、秩序の景色に触れたことは、当社の代替わりの場合にも、順序よく厳肅に行い、より安定と繁栄を準備している最中に、歴史的な場にめぐり合わせたことは、大きいと思うところである。

## 新天皇即位の象徴 3種の神器について 象徴としての意味

1. 鏡 鏡に移る姿で、自らの心魂の形を知るように、象徴としての鏡。心身を研いて、美しい自分を作るように。それを目指すところに人生の意義があると、お国として、国民に示すもの。自分が他人や、物事を見て思い、行う姿は、相手を通して自分の姿を見て行う意味である。

2. 剣 どの国にも王制には、王剣がありますが、邪悪を切り捨てないと、王制を守れないから、必ず、象徴として剣が伝授される。今の時代は、司法や警察で担っている。

☆ 会社は、株式会社法に基づいている。経営者も従業員も、偽善や不善に陥らない方法が、社員教育である。その教育で、全員が成長し、素晴らしい人間性を築き、社会の一員として、立派に役立つ意味である。この貴い自己教育に徹する人は、日々成長するが、ついて行けない場合は、法にふれなくても、居場所を構築出来ず、自ら退く意味を持っている。

故に、社の方針、研修会や会議の『 資料を重んじ 』その資料に基づく、仕事や言葉使い、態度で取り組むことである。すると、良いことのみ味わうことになる。

今は、人数が増え、一人一人に配慮が行き届きづらい事がある。故に、資料で組み取ることである。その、反対を選び、感謝、敬い、礼を失うと、それに見合う形で現れる故に、この度の、退位式、即位式を通して、厳肅さを肝に刻み、自分自身が実践することで、平安と繁栄がもたらされると、象徴として示して下さっています。

これが、改元で『 人心一新を図った歴史の意味 』です。このような場面に誇りと感謝の念で学び、一人一人が、豊かな人生を築いて、私も満足した人生であると、言える一人になることである。

3. 曲玉 曲玉は、天皇を象徴する宝石（ 光輝で王冠を飾る ）即ち、最も、高貴な方の象徴として、装身用の宝石。最も高級な石、翡翠、<sup>ひすい</sup>瑪瑙、<sup>めのう</sup>碧玉、<sup>へきぎよく</sup>碧玉を材料として、作るものを、象徴として現す。

即ち、一般市民としての象徴は、洋服、靴、持ち物、言葉使い、態度、姿勢…仕事の仕方  
自己を表現する意味です。私はこのような人であると。故に、一人一人が、人間として、人  
の間で公の場に合う持ち物で、心は敬い、感謝、礼を持って、生ある限り、自己を教育（ 教  
えを育てる ）して、行くところに、生の目標がある。と、認識して高めて行くことを、令  
和の新元号は、現して頂いていると思います。全員目標に向け、精進して行きましょう。

全員、礼で合掌しましょう